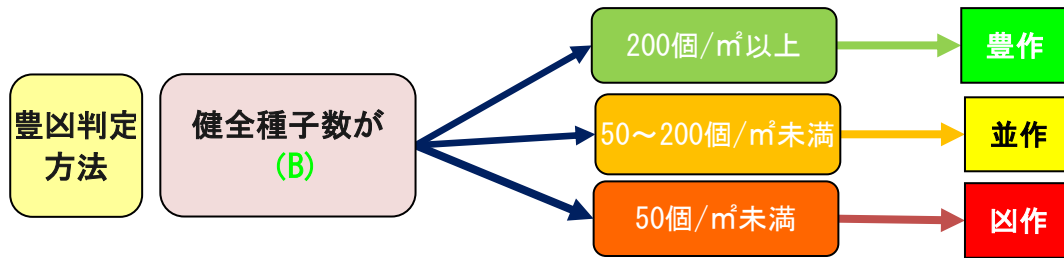


令和元年度ブナ豊凶結果について

- ブナの調査目的
野生動物の生息動向に影響を与えると考えられるブナの豊凶を調査することにより、森林生態系への影響や異変を察知し、その原因を解明します。
- 調査方法及び調査時期
県内16カ所のブナの調査地にトラップ(直径約1mのネット)を設置し、それに落下した雄花の数(5月末まで)から豊凶の予測をします。さらにそのトラップを継続して使用し、11月まで落下した健全種子の数から豊凶を判定します。
※1 葉山は種子の調査のみです。
- ブナの豊凶基準及び結果
豊凶予測で使用したトラップ(5個:a、10個:b)を継続して使用し、落下した種子を判別して、その中の健全種子数が200個/m²以上の場合を豊作、50~200個/m²未満の場合を並作、50個/m²未満の場合を凶作としています。これはこれまで行われた調査・研究で定義している基準に準じています。



調査地番号	調査箇所	落下種子数(個/m ²)				豊凶結果		予測
		健全種子数 (B)	未成熟・シイナ種子数	虫害種子数	合計(確認雌花開花数)	(B) ≥ 200	(B) < 200	
1	湯の台 (a)	0.0	7.2	17.6	24.8	凶作	凶作	凶作
2	羽黒山 (a)	0.4	61.4	12.8	74.6	凶作	凶作	凶作
3	関川 (a)	0.0	144.2	6.2	150.4	凶作	凶作	凶作
4	沼の台 (a)	0.0	0.0	0.0	0.0	凶作	凶作	凶作
5	西小俣 (b)	0.0	0.0	4.4	4.4	凶作	凶作	凶作
6	与蔵峠 (b)	0.0	0.0	1.6	1.6	凶作	凶作	凶作
7	鍋越峠 (b)	0.0	0.1	2.4	2.5	凶作	凶作	凶作
8	弓張平 (b)	0.0	0.0	0.0	0.0	凶作	凶作	凶作
9	入田沢 (a)	0.0	6.8	1.8	8.6	凶作	凶作	凶作
10	月山自然博物館 (a)	0.0	0.0	0.0	0.0	凶作	凶作	凶作
11	花立峠 (a)	0.0	4.2	4.2	8.4	凶作	凶作	凶作
12	黒伏 (b)	0.0	2.0	1.6	3.6	凶作	凶作	凶作
13	蔵王(鳥兜) (a)	0.0	2.4	0.0	2.4	凶作	凶作	凶作
14	駒立 (a)	0.0	2.0	0.0	2.0	凶作	凶作	凶作
15	徳綱 (a)	0.0	7.6	2.0	9.6	凶作	凶作	凶作
16	葉山(村山) (b)*1	0.0	0.0	0.0	0.0	凶作	凶作	-

※1豊凶結果のみ。

ブナ豊凶結果 位置図

